

高梁市有漢地域の学校再編準備委員会（第2回） 会議録（概要）

日時 令和元年11月27日（水）

午後7時～午後8時30分

場所 有漢保健センター2階 会議室

○委員 出席17名 欠席3名

○オブザーバー 出席2名

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

事務局	(1)小中学校の適正規模、適正配置について (2)単式学級と複式学級について (3)小中一貫校、義務教育学校について ～資料により説明～
委員	学区について、小中一貫校と義務教育学校で違いはあるか。
事務局	詳しくは確認が必要だが、義務教育学校は条例で、小中一貫校は規則で定めることができる。
委員	学区の特例はあるか。
事務局	就学学校変更の申し出により、教育委員会で協議し承認されれば可能。
委員	来年、有漢西小学校の2・3年生が複式になった場合、何年生の授業を受けるのか。
事務局	通常、複式は1年と2年、3年と4年、5年と6年で運用している。 複式と単式が繰り返しとなることが想定される場合は、職員の加配で複式解消となるよう協議していく。
会長	義務教育学校のデメリットとは、教育の中で解消していくものではないか。
事務局	一般論であって、必ずそうなるという話ではない。
委員	学区を設定しない場合の入学希望者の募集方法はどのようにするのか。
事務局	詳細は今後決めていく必要があるが、他市教育委員会での承認が必要にな

	るので、自由に学校を選べることにはならない。
委員	学区はどこで決まるのか。
事務局	教育委員会です。
委員	巨瀬とまちづくり協議会で協力していくことを検討している。学区についても検討が必要だと思う。
委員	学校を残すためにどうするかを考えている。特色ある学校をつくるのがこの会。この先どうすれば良くなるか。統合してから義務教育学校を目指すという方法もあると思うが、遅くなればなるほど土俵に上がるだけの人数がいなくなる。
会長	小学校をまず統合するという意見も出ていたが、その考えについてはどうか。
委員	最短で統合可能な時期はいつになるか。
事務局	建物なしの場合、令和3年に複式を解消し令和4年度。
委員	建物ありの場合、基本設計、実施設計に2年、建設に2年で令和6年か7年度。
委員	小学校と中学校が離れていても義務教育学校の設置は可能か。
事務局	校長が一人なので難しい。小中一貫校であれば可能。
委員	普通に考えればこのあたりに学園都市を作って、有漢に義務教育学校ができれば、有漢地域のPRになって少しでも人口が増えれば有漢としても高梁市としても成功と言える。新校舎の建設を目指しながら、前段階として小学校は東へ統合し義務教育学校の開校に備えるのもひとつの選択肢になる。
会長	まず小学校を統合してから義務教育学校を目指すことは可能か。教育委員会が認めれば義務教育学校の設置ができるのか。
事務局	条例の改正が必要になる。ただ、そこにいくまでのいろいろなことはあると思う。例えば人数の問題。
委員	有漢西小学校の保護者は、有漢東小学校への統合を考えていないと思う。有漢中学校の側に新校舎ができてからの統合を考えている保護者が大半だと思う。
委員	義務教育学校を目指すのに何ができるかを考えると、小学校同士がまず統合しないといけないというのであれば、それはした方が良くと思うし、最終的に一つになるときには解消しておかなければならない。
委員	新校舎の建設が決まっていないのに一旦東に統合というのは考えられない。

委員	学区外から有漢の学校へ行きたいという希望もある。
委員	話は聞いたことがある。建物の話は置いておいても、良い学校環境をつくりたい。
委員	先日、有漢東小学校の複式の授業を見せてもらった。校舎はきれいなので使わないのはもったいないと思った。
会長	準備委員会としては、義務教育学校を目指す。新校舎は有漢中学校の位置。
事務局	(4)小中学校の現状について
委員	～資料により説明～
委員	
委員	
会長	(5)その他 ・次回開催日 12月18日(水)19時～

#### 4. 閉会